

ロサンゼルスオリンピック競技大会（LA28）のスカッシュ競技におけるオリンピック予選システム（OQS）が発表されました。

2028年7月15日から24日に開催される第34回オリンピック競技大会（第34回オリンピック競技大会）のスカッシュ競技におけるオリンピック予選システム（OQS）が、2月1日にイタリア・ミラノで開催された国際オリンピック委員会（IOC）理事会で承認され、発表されました。

OQSは、条件付きで以下の5つのルートから構成されます。

- **大陸競技大会（男女各5名）**
- **開催国枠（男女各1名）**
- **世界ランキング（男女各8名）**
- **ユニバーサリティ枠（男女各1名）**
- **最終世界予選大会（男女各1名）**

ロサンゼルス大会でオリンピック初採用となるスカッシュ競技は、男女シングルス各16名で実施され、会場はユニバーサル・スタジオ内のコムキャスト・スカッシュ・センターです。

OQSは、世界スカッシュ協会とプロスカッシュ協会（PSA）によって開発され、各大会に出場する16名の選手の中で、トップクラスの選手の参加と、可能な限り多くの各国オリンピック委員会（NOC）の代表選手の参加という最適なバランスを実現することを目的としています。最低2つ、最大3つのNOCが、条件を満たすことを条件に、男女各2名の選手枠を獲得し、その他のNOCは1名の選手枠を獲得します。

男女各5名の選手は、それぞれの大륙大会（アジア競技大会（名古屋、日本、2026年9月19日～10月4日）、アフリカ競技大会（カイロ、エジプト、2027年1月20日～2月7日）、ヨーロッパ競技大会（イスタンブール、トルコ、2027年6月）、パンアメリカン競技大会（リマ、ペルー、2027年7月16日～8月1日）、パシフィックゲームズ（ピレ、タヒチ、2027年7月24日～8月8日））で出場資格を得ます。

開催国である米国は、米国オリンピック・パラリンピック委員会を通じて、条件付きで男女各1名以上の出場枠を獲得します。

さらに、PSA世界ランキングに基づき男女各8名の選手が出場資格を獲得し、資格のあるNOCには男女各1名の**ユニバーサリティ**枠が与えられます。

男女各1枠の残りは、2028年6月6日から10日に開催される24名の選手による最終予選トーナメントで決定されます。

世界スカッシュ連盟のゼナ・ウッドリッジ会長は次のように述べています。「スカッシュのオリンピック予選制度に関して、選手、コーチ、そして連盟の皆様が大きな期待と期待を抱いてい

ることを深く認識しています。これは、スカッシュ界全体がオリンピック初開催に抱く期待感を反映しています。

世界中のスカッシュスターたちが、ロサンゼルスでスポーツ史に残る舞台を目指し、準備を始めるこの日、多くの人にとってオリンピックの夢が一步近づいたと感じられるでしょう。

世界スカッシュ連盟と PSA（国際スカッシュ連盟）を代表し、このプロセスにおける IOC の皆様のご支援に感謝申し上げます。スカッシュをスポーツ界最高の舞台に導けることを楽しみにしています。」

予選に関する詳細なガイドラインは olympics.com でご覧いただけます。

-以上-